

本村小学校

だより

3月号



発行所 港区立本村小学校
〒106-0047
港区南麻布3-9-33
TEL:03-3473-1462
FAX:03-3443-8535

家族の絆

校長 山村 登洋

令和2年度もあと1ヶ月

様のご理解、ご協力無しには続けられなかったと思います。心から感謝を申し上げます。

げます。

令和2年度もついに残り1ヶ月となりました。今年度は学校休業からスタートし、6月の分散登校を経て7月からは通常登校となりました。何度かの緊急事態宣言が発出されましたが、そのたびに創意工夫を凝らし教育活動を続けてまいりました。ここ

2月の展覧会でも、分散形式の鑑賞、また新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限ご協力いただき無事に終えることができました。ありがとうございました。

よきリーダー6年生

来る3月25日の修了式をもって、今年度の教育活動を終えることとなります。

コロナ禍においても、クラブ活動、委員会活動、ほんむらピック、本村ハーモニックコンサート、



展覧会など様々な行事の中で、いつも全校の先頭に立ち、よきリーダーとして頑張り、活動してくれた6年生48名が卒業を迎えます。これも、ご家族の皆様の温かな励ましがあったからに他ありません。

愛されているということ

子供は、地域の自然、文化、そして人の愛情で育ちます。喧嘩をして仲直りすることで、人のかかわりを学びます。思い通りにならないことがあってこそ、我慢する心が育つのです。

こうした子供の育ちの根底になくてはならないものは、ご家族の愛情による安定感、安心感をもたせることです。子供は愛されているという安心感からさらなる自信や意欲をもち、自分や周りの人のよさに気が付いて大切にしようとしめます。そして、我慢する心も生まれるものです。

家族の絆

家族は活

力源です。

本校の子供たちは、自分に自信をもち、学校で友達と共に学び、共に競い合うな



愛されていることを信じること

きたのだという感謝の念と自覚をもってほしいと思っています。子供たちがやがて世に出るときにふるとは港区であり、本村小学校で学んだこと、歴史と文化の発信地港区で育ったことの誇りを胸に力強く巣立ってほしいと願っています。

かで成長していきます。それは、ご家族で深い愛情を受け、「家族の絆」を強めてきたからです。

最後にありますが、今年度の教育活動にあたり、保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の方々に、ご支援、ご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

特に6年生には、こうした家族の絆があつてこそ6年間、小学校に通い続け成長することがで

「卒業生」に贈る言葉



■壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁があるときはチャンスだと思っている。(イチロー)

■君は勘違いしてるんだ。道を選ぶということは、必ずしも歩きやすい安全な道を選ぶことじゃないんだぞ。(ドラえもん)

■人を信じよ、しかし、その百倍も自らを信じよ。(手塚おさむ)

■夢を見るから、人生は輝く。(モーツァルト)